

比較

1. 比較とは

比較の文は、読んで字のごとく何かを比べる表現です。2つを比べる比較級と3つ以上を比べる最上級があります。

2. 比較級・最上級の作り方

過去形を作るには動詞を変化させましたが、比較級・最上級を作るには、形容詞・副詞を変化させます。その変化の仕方は、

比較級を作るには…原級+er

最上級を作るには…原級+est

これが基本です。そして、その変化の仕方は、過去形の一般動詞と同じようにいくつかの種類分けできます。以下の変化を覚えて下さい。

1 規則変化

1 たいていの語

原級に **er** や **est** をつけます。

- tall - taller - tallest
- old - older - oldest 等

2 e で終わる動詞

原級に **r** や **st** をつけます。

- wise - wiser - wisest
- nice - nicer - nicest 等

3 <子音字+y>で終わる動詞

語尾の **y** を **i** に変えて **er** や **est** をつけます。

- happy - happier - happiest 等

4 <短母音+子音字>で終わる動詞

語尾の子音字を重ねて **er** や **est** をつけます。

- hot - hotter - hottest
- big - bigger - biggest 等

これらの変化は、一般動詞の規則変化と同じルールです。ちなみに、

母音→ a, i, u, e, o

短母音→アクセントのある a, i, u, e, o

子音字→母音以外

のことです。

2 more, most をつけるもの

音節が2つの語の一部と、音節が3つ以上の語はこれに当てはまります。また、形容詞+ly の形になっている副詞もそうです。例えば次のような単語です。

- famous - more famous - most famous
(有名な)

- important - more important - most important
(重要な)

- slowly - more slowly - most slowly
(ゆっくりと)

音節とは、音のまとまりです。辞書で確認するとすぐにわかります。例えば、difficult を辞書で調べると、dif-fi-cult こうなっています。これは音節に分けているからです。従って、difficult は3音節の単語です。

ただ、最初のうちは「長い単語は more, most 」でいいと思います。

3 不規則変化

不規則変化をする単語は、暗記以外に対策がありません。以下が例です。

- good - better - best (よい)
- well - better - best (よい)
- many - more - most (多数の)
- much - more - most (多量の)
- bad - worse - worst (悪い)
- little - less - least (少し)

よく雑誌などで、「～ベスト10」 や 「～ワースト3」 などの特集記事を見かけます。あの“ベスト” や “ワースト” はそれぞれ最上級の形です。

一般動詞の不規則変化と比べて、数はそれほど多くありません。一気に覚えて下さい。

4 2通りの変化をするもの

意味によって、2つの変化を持つ単語です。暗記して、使い分けられるようにして下さい。

late

- late - later - latest (おそい) ※時間
- late - latter - last (おそい) ※順番

old

- old - older - oldest (年をとった) ※年齢
- old - elder - eldest (年をとった) ※年の順

far

- far - farther - farthest (遠い) ※距離
- far - further - furthest (さらに) ※程度

数は多くないです。しっかりと覚えて下さい。